

エアポップ(ライトフィットエアー)取り付け条件

エアポップ(ライトフィットエアー)を正しくお使いいただくためにお車の座席を必ず確認ください。

ユニバーサル

エアポップ(ライトフィットエアー)は、UNIVERSAL「汎用」カテゴリーの幼児拘束装置です。

グレコでは、ユニバーサルカテゴリー製品は、車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」幼児拘束装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けできると考えられます。

〈お奨めする取り付け座席の位置〉

- ・お子さまの安全を最優先に考えチャイルドシートは、2列目以後の座席に取り付けることをお奨めします。
フロントエアバッグが作動した際に、お子さまが強い衝撃を受けるおそれがあります。

〈やむを得ず前席に取り付ける場合の注意〉

- ・座席をいちばん後ろまで移動(スライド)させ、フロントエアバッグが作動した際の影響ができるだけ少なくなるようにします。

① 取り付け一覧表に記載の無いお車は以下の方法でご確認ください。

以下の条件に一つでも当てはまる座席にはお取り付けできません。

①車のヘッドレストが外せず、座席の背もたれと
チャイルドシートが接触しない座席



②進行方向に対して横向き
及び後ろ向きの座席



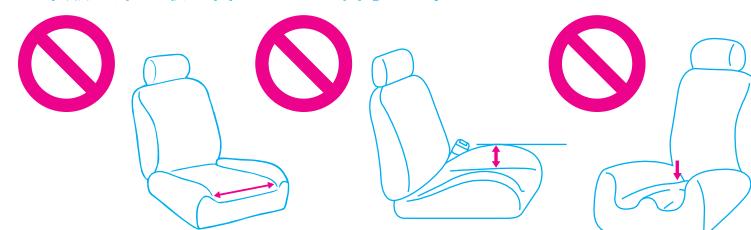
③ピラーなどに接触して、正しく
取り付けできない座席



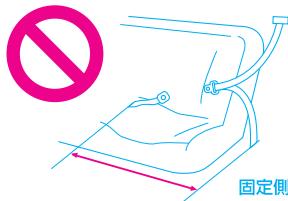
④極端に奥行きが短い座席(補助席や幼児専用座席)
極端に奥行きが長い座席(ベースが車の背もたれに全く接しない座席)



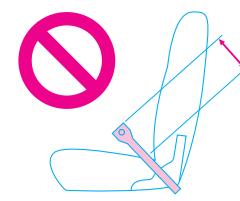
⑤座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席
(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、
市販座席に取り替えられた車両など)



⑥シートベルトの取り付け幅が
極端に小さくベースで
バックルを踏みつける座席



⑦バックル側のベルトが
固い樹脂製などでかつ
極端にバックルが長い
座席(一部のRV車)



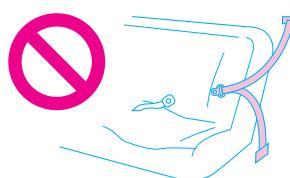
⑧バックル及び腰シートベルトが
極端に高い位置から出て、
しっかり取り付けができない座席



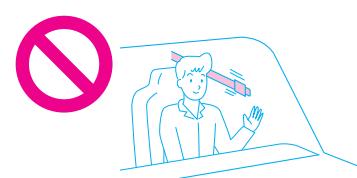
⑨2点式シートベルトの座席



⑩シートベルトの取り付け部が
上下共巻き取り式の座席



⑪パッシブシートベルトの座席
(座席に座ってドアを閉めると
自動的にシートベルトが装着される座席)



⑫市販のスポーツタイプの
シートベルトが装備されて
いる座席



⑬バックル及び腰シートベルトが極端に
前方から出て、リクライニング機構もなく、
しっかり取り付けできない座席



② ①の条件がどれにもあてはまらない場合には、更に以下の事をご確認ください。

〈シートベルトの条件〉

- ・本装置は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可されたお車
3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。
- ・シートベルトの種類については、お車の取扱説明書をご確認ください。

| シートベルトの種類 | 特徴 | 取り付け上の注意点 |
|-----------|---------------------------------|---|
| 3点式シートベルト | ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付) | 通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に入れられ、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。 シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。 |
| | ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付) | シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。 シートベルトを全てどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。 |
| | その他 | 上記に当てはまらないシートベルト。 本製品は、ご使用できません。 |



誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・チャイルドシートがシフトレバー や パーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。(別売の保護マットを使用する。)